

2020年度事業報告書
 特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク

様式1

1. 事業の報告

2020年度は、新型コロナウイルスの感染予防対策に十分力を注ぎつつ、知恵を出し合い事業をとめることなく無事に1年を乗り切ることができた。さらに、つどいの広場PJを通してコロナ禍の広場と利用者の実態調査を行い、オンライン子育て広場を広げる提案とマニュアルづくりを行うなど、中間支援団体として役割も果たした。

2020年度より新たに検討した6年間の「長期ビジョン」、2年間の「中期ビジョン」には3本柱を据え、短期目標にチームの得意分野や課題・状況に合わせて指標チェックリストから重点項目を選び、具体的な事業を掲げて進めてきた。重点項目を意識することで1年間の成果を実感しやすくなり次年度の課題も明確になった。

また、新規事業としてつどいの広場受託を増やす計画をしていたところ、洛西口でのつどいの広場のプロポーザルがあり、その結果、受託することができた。需要も大きい地域であり仲間づくりチームとの連携もおこないながら着実に期待に成果をあげてきた。

2. 事業の実施に関する事項

企画書番号	事業名	実施日時	実施場所	事業内容(①②③成果・課題)	受益対象者(人)	受益対象者	予算	事業収入額	支出額
1	つどいの広場いっぽ	水・日・祝を除く毎週5日	桂小学校ふれあいサロン3F	<p>来ることを模索し、子育て家庭を支援した。(電話相談、公園見廻り、利用者との双方向交流「わたしのいっぽだより」「FBで手遊び」などSNS発信)</p> <p>消毒チームを中心に定員や消毒方法、消毒箇所など安心して広場を開催出来るようスタッフ間で話し合いを重ね、6/15解除が出るといち早く開所し、利用者の待ちわびた声に応えた。</p> <p>子育てあるある月めくりカレンダーの作成は昨年度の作品のコピーを掲示して声かけをするなど、チーム作りを意識した。0歳児、1歳児、2歳児と3チームを結成。メンバーの引越などもあったが、いいつながりが作れた。大賞をはじめ、全てのチームが賞を受賞というご褒美もあった。</p> <p>①<課題>少人数定員制となり、当初はキャンセル待ちなど、なかなか利用できない状況が続いた。ランチタイムがなくなり、大事な食でつながる事が難しい状況。</p> <p>②<成果>当事者性の高い親子の集う場を提供、行政とも協力し、当事者親子のつながりを深めた。また、十人十色イベントからの通常利用も上げた。</p> <p>・双子企画(10月・12月・2月)・口唇口蓋裂企画(12月)・ダウン症企画(9月・11月・12月)、いっぽ利用のダウン症児のママがピアサポーターとして新しいサークルを立ち上げることになり、バックアップしている。子育てに困り感のある親子向けに子育て連絡会で取り組んでいる「ほんわかクラブ」がはぐくみアクション賞を受賞した。</p> <p><課題>行政との連携をより密に、当事者へしっかりと広報を届けていきたい。</p> <p>③<成果>産後うつはコロナ禍により、一層深刻になった。11月より行政にかけ合い、保健センターでのプレママ教室の広場紹介で、直接妊婦にチラシを届けている。コロナ以降に産産を迎えるプレママ、プレパパに集う場があることを知ってもらいたい機会になっている。出張広場は会場がコロナで借りられず、区役所と保健センターにて開催。駐車場があり遠方より利用出来ることも魅力で出張からいっぽへつながる方も多い。</p> <p>zoomで手遊びを毎月開催。オンラインならではの趣向を凝らし、楽しんでもらっている。</p> <p><課題>zoom企画は好評だが、もっと多くの方に参加してもらえるよう広報を続けていきたい。</p> <p>はぐくみ室の4ヶ月健診は小児科での受診となり、見守り活動ができなかった。プレママ教室での広場紹介は出来るので、プレママ・プレパパ企画を開催していきたい。</p>	4379人	子育て家庭	6,519,000	6,694,058	6,694,058

1 子育て広場運営	2	ま〜ぶりんぐ	木・日・祝を のぞく毎週 5日10時〜 16時	京都市 西京区 大枝東 新林町 3-5 UR洛西 新林団 地中央 集会所 内	<p>①成果:コロナ禍でも安全にできるやり方を工夫しながら活動を行った。年度途中、引越し等でメンバーが減ったが広場利用者への声掛けを行い新たな加入へと繋げることができた。OG会メンバーのバックアップもあり無事活動を終えることができた。課題:一年通して活動を共にできるメンバーが減っている。短期間でも自主性を適度に促しながら活動しつながら作りができるようスタッフの関わり方の工夫が必要と感じている。</p> <p>②成果:広場閉所期間中、お手紙交換やメールでのやりとり・電話相談を行い、個別のニーズに対応。開所後も人数制限を設けての広場利用ではあったが、繰り返し利用してくれる方が多く、個々の親子と濃く関わり、悩みや相談にも丁寧に対応できた。課題:参加しやすい企画を通して少しでも多くの乳幼児親子に広場を継続利用してもらい、丁寧な関わりが持てるように心がけたい。</p> <p>③成果:広場閉所期間中は、SNS配信の工夫・洛西ケーブルテレビとの協力で発達遊びYouTube配信を行い、少しでも多くの乳幼児家庭に情報が届くよう試みた。「らくさいきのひろば」での取組み、民生さんのあかちゃん訪問事業・保健師さんからの紹介・他の広場からの紹介などで自粛ムードが漂う中でも行ってみようと思ってもらえたことは良かった。課題:働くママへのアプローチとして、保育所との連携が今年度は取りにくかったため、次年度再交渉していきたい。</p>	1961人	子育て家庭	5,035,000	5,174,468	5,174,468
	3	びおと〜ぷ	火・日・祝を のぞく毎週 5日10時〜 16時	京都市 西京区 川島五 反長町 18-2京 都市交 流促進 まちづ くりプラ ザ内	<p>①成果:「子育てスクール」を経て、定期的に集まるサークルができた。ほとんどが職場復帰のため、今後の活動ペースなど相談しながら継続できる方向性を思案中。引き続き程よい距離間でスタッフが紹介しつつ丁寧に進めていきたい。課題:新しいメンバーを募るタイミングを検討したい。</p> <p>②成果:9月開所から様々な乳幼児親子が利用する中、さまざまな取り組みを通して互いを認め合う関係性が生まれつつある。まちプラのスタッフには男性もいるため、パパも気軽に参加できる雰囲気がある。課題:行政とのやりとりが区や市をまたぐことも多いため、スムーズな連携をとれるよう工夫が必要。</p> <p>③成果:立地条件的に広場の様子が目につきやすく、地域に伝わりやすいため気軽に出向ける印象をもってもらえている。SNS・チラシでの広報、口コミの力も大きく新規利用につながった。課題:図書スペース利用者・多目的室利用者に閉鎖的にならないような雰囲気作りが必要である。</p>	2912人	子育て家庭	3,737,081	3,790,821	3,790,821
	4	ふかふか子育てコミュニティベース	毎週月・水曜日10時〜15時(第2水曜日休)	ふかふか家2階	<p>①アンケートをもとに、利用者の声から1歳児以上の日の設定、2箇所での公園遊び、子どもの成長にちなんだ手作り講座などを実施し、よりニーズに合った内容とした。利用ママの得意分野の講座も実施してもらい、活躍の機会を持ってもらった。カレンダー作りでは、2チームが参加。自主的に活動できるように促し、作品の完成につながられた。</p> <p>②行政や地域とのつながりを深め、地域の冊子作りや動画作成などへの協力を行うことで親子の声を届け、子育てへの共感を広めることができた。</p> <p>③コロナ禍で定員制ということもあり、パパ向けのイベント実施には至らなかったが、普段のひろばへのパパ参加はあり、子育てを一緒に楽しめる環境作りに努めた。普段よりもブログ発信数を増やし、より多くの人へ伝えるように心掛けた。おうち時間に楽しめるものなど、内容も工夫して情報を発信した。Zoomを使ったオンライン広場を実施。おしゃべり、講座、クリスマス会など様々な企画にて行い、広場以外でのつながりの機会を持った。</p>	913人	子育て家庭	664,580	307,923	666,144

2 親の 社会参画の コーディネート	5	mamaGAKU	4日間	まちづくり リブラザ	<p>①成果: ママ講師たちが自身の子育てで経験や大切だと考えたことなどを次世代の親たちに伝えた。また、新人の講師たちが活躍することで、子育て中の母たちの身近なロールモデルともなった。そして、キャンセル待ちが出るほどに沢山の参加があり、講師にとっても有意義で充実した講座となった。</p> <p>課題: 今年度は、びおと〜ぶと連携し、チーム固定で事業を進行したが、徐々に講師主体に移行していきたい。また、新規の場所での開催を進めていくことができれば、さらなる居場所作りにつながるのではないかと考える。</p> <p>②成果: 様々な月齢の親子、同月齢の親子、更にお父さん同志など、様々な仕組みで出会い、お互いを知り合う機会を設けた。</p> <p>課題: 日本語が母国語ではないという母も増えているように感じる。日本語以外の情報の発信と進め方を検討とより多様な親子との共感が深まると考える。</p> <p>③成果: 0歳児の親子、コロナ禍で子どもを連れての外出を控えていたために赤ちゃんの遊び仲間がいない、遊び場の情報がないという親へ居場所をつなぐことができた。</p> <p>課題: 現代の状況に対応した、情報(SNSなど)の発信の仕方を模索。</p>	83人	子育て家庭	90,450	161,500	139,770
	6	子育てスクール	11月19日 ～12月10日	びおと〜ぶ	<p>①コロナ禍で行き場を探していたママたちが参加をしてくれました。</p> <p>課題: 集まれる場所が限られるため、びおと〜ぶを拠点にして育児サークルを結成することに。人数制限もあるので早く気軽に集えればと思います。</p> <p>②初めの子育ての共感や相談、ちょっとしたこまったを言い合える仲間になりました。</p> <p>課題: 春から生活環境も変化し、育児だけでなく仕事やママ自身のことが言える仲間になってほしいと思います</p> <p>③子育てサークルとしての活動が決まりました。</p> <p>課題: 自発的に活動するまでにはまだ行かないので、リーダーを立てたりを提案</p>	8人	子育て家庭	61,400	40,000	0
		社協福祉フェスタ	中止	ひとまち交流館	中止	人	子育て家庭	35,340	0	0
		やんちゃフェスタ	中止	みやこめっせ	中止	人	子育て家庭	42,500	0	0
		みらいっこまつり	中止	こどもみらい館	中止	人	子育てグループ	35,120	0	0

7	中高生と赤ちゃんふれあい授業	依頼時期 2020.6.30	依頼校 京都府立洛東高校	<p>①赤ちゃん授業の経験があるボランティアの方が今回もご参加頂き授業への理解がとてもスムーズである洛東高校とと北野中。特に今年度はオンラインでの交流の為、経験者としてママが高校生の生徒へとゆっくりと更に丁寧に質問に答えてくださっていました。リアルで会えない状況でしたが、画面を通しての生徒とお母さんは交流を楽しんでおられ、赤ちゃんのパワーとお母さんの包む雰囲気にも高校生も笑顔がいっぱいでした。北野中のオンライン授業は、クラス全体での交流で、和やかに進みました。西乙訓高校は5年連続での参加の坂本さん森田さんスピーカーとしてご参加/パパの参加も</p> <p>②子育ては十人十色を大切にしてきた。今年度は洛東は妊婦さんとのふれあい授業は無し。3人の子育て体験を聴く講演会と赤ちゃんふれあい授業を週続きでの開催とした。15日22日実施プログラム。講演会では妊娠出産子育てから地域でのつながり、お父さんの想いやお母さんの想い3人3様のお話を聴きながら、感想を生徒に書きとめていた。また今年度もダウン症のお子さん育てる武田さんに講演していただいただけ良かった。いつ君も参加の授業でした。命の大切さをしっかり受け止めてくれていた。北野中は2020年度から赤ちゃんふれあい授業のみになる。</p> <p>③子育て講演会と赤ちゃんふれあい授業では、これから、産み育てる未来を想像し母や父として、自分たちならどうなるかなあなど、他人事ではなく、自分に置き換えて考えている生徒もいる気づきの時間となりました。パートナーとの関係性など、未来の自身のパートナーと重ねた質問が高校生では気になるようです。中学生の感想は後日先生からいただく予定。</p>	親子15組 大人15名 子ども17名 スピーカー大人6名	生徒・教員	0	122,000	95,360
8	一時保育	不定期	京都市各文化会館・市民活動センター・オトナリラボ他京都市全域	<p>①成果：受け入れ・引き渡し時にはあたたかい声かけに努め、お子さんの気になることなどを話しやすく、そして安心して保育を預けられるように心掛けた。引き渡し時には暖かい声かけ引き渡し時に保育の様子を丁寧に伝え、安心保育活動に努めた</p> <p>②成果：個々の特性、年齢に合わせた保育を行った。</p> <p>③成果：数少ない保育の中で、ひとつひとつ丁寧に、活動を行うことができた。</p>	41人	子育て家庭	340,000	100,129	86,691
9	親子の居場所づくり相談室	年間随時・電話相談：月・水13～15時	ふかふか家・派遣場所	<p>①【成果】サークルの立ち上げ相談などを行政や企業とつなぎ、サポートとすることができた。子育てあるあるカレンダーづくりを通して、サークルからの子育ての発信につなげることができた。【課題】行政の課題意識と共有することが難しく、そのようなニーズ(障がいのある子の居場所がほしいという声など)は把握していない、という状況を改善するのが行政のシステム的にも難しいのか、どうなのか、そのあたり他の課とも共有していき</p> <p>②【成果】ダウン症の子育て家庭の写真展示会をサポートしたりサークルの立ち上げにまでつなげることができた。また、障がいのある子どもたちの施設からも居場所づくりの相談があり、地域の当事者グループなどとつなげて輪を広げることができた。四つ子の子育て家庭からの相談もサークルの居場所とつなげ、みんなで子育てする後押しをすることができた。外国語で活動する国境のない子どもたちや地域の居場所づくりからも相談があり、幅広くつながりをもつことができた。</p> <p>③【成果】スクールや地域の声から仲間づくりのはじめの1歩の場を作るきっかけがあり、2カ所のサークルが立ち上がった。【課題】サークル活動の情報発信を京ネットからも発信できる流れを検討していく。</p>	472	子育てグループ	670,000	896,500	602,120

3 子育てグループ コンサルテーション	10	こどもつながり応援隊事業	年間	ふかふか家ほか	<p>①目標「参加者の得意なことを引き出し、力を発揮できるよう促している」【成果】参加前「メンバーとはつながりがあまりない」と回答した25%→参加後は6%に減少。「つながりがさらに深くなった」と回答したのは94%であった。「子育ては大変だが楽しいこともあるよ、という思いを社会に広めたいと思った」と60%が回答。「先輩ママとして次世代の子育て世代を応援できることがあると思った」「もっと多くの人にも声をかけてこの取り組みを広めたいと思った」という積極的な項目の選択はいずれも31%を得た。個々の力がチームで発揮することができ、孤立予防のための仲間づくりが進み、さらにその力が社会に発揮し、子育てに優しい風土づくりに貢献できた。【課題】子育て家庭に向けて→新しい仲間づくりやパートナーもともに参加できる呼びかけを積極的に行う。既存グループに所属しないがコンテストに参加したい個人同士を結び付け仲間づくりのきっかけを広げる。</p> <p>②目標「参加者同士が情報交換や交流できる場をもち、理解・共感できる場を作っている」【成果】参加者からは「カレンダー作りを通して、しんどかった子育ての記憶が楽しいものとして受け止められた」「参加メンバーとも公園などでも遊ぶようになり、親子共々楽しい時間が増えた。次回は積極的に声をかけてメンバー集めしたい」「孫育てを楽しみながら温かく見守るようになった」などの声があった。職場で参加されたメンバーからは「職場のチームビルディングに役立った」「育休あけの職員を4月から温かく迎えたいと思う」などの声が上がった。【課題】広場などの子育て支援者も巻き込み、イベントの一つとして提案する。</p> <p>③目標「チーム間、地域・行政との連携を進めるため積極的に外部イベントに参画している」【成果】以上、カレンダーづくりのプロジェクトの中で、参加者が「子育てに優しい風土づくりに貢献することができたと言える結果である。オンラインで作品を見て審査をくださった方々の感想で「子育ての楽しさや苦労に共感できた」という回答が95.4%、「親子に温かな眼差しを向けたいと思った」に関しては97.6%の回答を得た。子育ての社会化に向けての成果を感じた。【課題】企業に向けて→育休の職場復帰プログラムや職場のチームビルディングに役立てるようさらに訪問数を増やす。</p>	454	子育てグループ	1,271,850	1,269,000	1,245,995
	11	仲間作りのためのFa研修	年間2回	ふかふか家	<p>①循環型の子育て相互支援・仲間作りの意義について理解してもらえた。各講座の中で支援・援助・促進の役割を認識することで、さらなる仲間作りができる可能性を感じた。課題：活躍の場を増やしていきたい。</p> <p>②新たに多様な親子へのかかわり方について研修内容に盛り込んだ 課題：広場などの事例、対応についてなど話してもらえる現場スタッフを巻き込んでいきたい</p> <p>③京都子育てスクールの実践で0歳児親子の仲間作り・エンパワメントを促していけるだろうと感じる。 課題：仲間作りについて、定着して学んでもらえる仕組みを検討。</p>	3人	内部メンバー	36,160	10,500	9,288
	4 情報収	12	情報発信・管理	通年	適所	<p>①多様な子育て情報を発信するため、各チームからSNS担当者を立てHPやSNSの活用を行った</p> <p>②新広場も立ち上がったことから、Instagramの重きを置き、主に担当者が、居場所に出会えるよう情報発信を行った</p> <p>③イベント等はコロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開催がなされなかったが今後も行政との連携は必須と考える</p>	人	子育て家庭	3,640	0

集・発信	13	wix立ち上げ	0	0	<p>①会員から作成に知識のある得意な人を見つけ力を発揮してもらった。 また、ママ講師の紹介ページを充実させていく予定</p> <p>②多様な親にHP見てもらえるように工夫していく</p> <p>③申し込みなどを手軽に行えるように整備した</p>	子育て家庭	69,160	0	58,240
5) 地域・行政・企業との連携	14	赤ちゃんすくすくねっと 東山	0	0	<p>①東山はぐくみ室からの委託事業として協働で、東山で誕生した赤ちゃんの子育て家庭へ訪問し地域つつなぐ架け橋となるハッピーギフトを進めてきた。訪問件数が3倍に伸び成果があった。【課題】受け手側の子育て家庭が民生主任児童委員の存在を知らず、警戒心をもって受け入れられている現状を緩和していく。</p> <p>②【成果】主任児童委員さん向けにワークショップを行い、多様な子育て糧について話し合うことができた。【課題】欠席の委員さんが参加しやすい方法を行政と協議する。</p> <p>③【成果】ハッピーギフトを届けることで地域で顔がつながり1歩を応援することができたという報告もあった。【課題】主任児童委員さんと共にさらに地域でできることを話し合っていく。</p>	子育て家庭	209,040	250,000	205,047
	15	インターンシップ受け入れ	11月~3月	ふかふか家・いっぽぼなど	<p>①【成果】広場でのおしゃべり会などで、学生からのヒアリングに積極的に対応して下さり、母力を発揮してもらうことができた。</p> <p>②【成果】学生が十人十色の子育ての場に参加することで学びの機会となった。</p> <p>③【成果】リーフレットのリニューアルでは子育て支援の知識がない学生の目線でわかりにくいところに意見をもらい、誰でも理解できるわかりやすいリーフレットを目指して学生と共に作成した。気づかなかったたくさんの視点を活かすことができたのは大きな成果であった。インスタにも積極的にかかわり配信をすることでフォロワーが増えた。ZOOM配信も積極的に情報を収集し発信してくれた。</p> <p>【課題】学生が完成させてインターンシップ終了後に修正ができてしまい、手間取った。</p>	関係機関	60,120	0	15,740
		京都市つどいの広場つながりづくりプロジェクト	12~1月	びおと〜ぶ	京都市内有志の広場が集まりネットワークを形成している。今年度はま〜ぶりんぐ、稲荷・墨染・びーちくが担当広場であったが、コロナで開催が難しかった。コロナ禍における広場開催の状況をアンケートで情報収集し、取りまとめた回答を広場に配信した。成果として、それぞれの広場の工夫を学び合える支え合いのネットワークの重要性を再認識することができた。				
		京都府総合計画・地域創生戦略推進会議			—		0		0
		京都府子育てにやさしいまちづくりモデル事業 交付金の選	2021.3月	書類審査	京都府下の市町村へ総額1億円の交付金事業。「子どもの居場所」「子ども・親子の交流の場」「子育て中のパパママの職場」などを拠点とした様々な主体と連携する仕組みづくりなど、市町村による子育てにやさしいまちづくりの取組をハード・ソフト両面から包括的に支援するもの。選考にあたり京都府下5市町村が採択となった。		0		0

京都市はぐみ推進審議会	12月・1月	書類審査	コロナ禍でのつどいの広場のアンケート調査を行った報告として、新規0歳児の利用が例年よりとても減っている状況を伝えた。検診にて情報発信をする機会がなくなった代替案として、検診を実施されている協力医療機関の協力を要請した。また、病児・病後児保育の稼働率向上を図っていくとの支援策に対して、目指すべきは「病児・病後児保育」を利用せずに、保護者が仕事を休むことができる環境づくりを行い、子どもの最善の利益を守るために、企業への働きかけも併せて推進をお願いした。				0		0
児童館事業委員会	中止	—	—				0		0
福祉ボランティアセンター運営委員会	中止	—	—				0		0
京都市伏見区地域福祉推進委員会	2021.3.30	書類審査	予算・決算、事業報告				0	0	0
京都市はぐみネットワーク		明治安田生命ビル	—				0		0
子どもを共に育む京都市市民憲章推進協議会	5/18中止(書面審議) 8/26,12/1(Zoom参加)	京都市総合教育センター	2年度京都市はぐみ憲章行動指針の策定や、京都市はぐみ憲章表彰団体の審査を行った。行動指針の策定では、緊急課題としてコロナ禍での取り組みについてより話し合い、実施項目として取り入れた。				0		0
京都市交通バリアフリー推進検討会議		書類審査					0	0	0
西京区つどいの広場交流会	中止	ハンプホーム	—				0	0	0
桂学区子育て支援連絡会		西京児童館	地域子育てステーションだより「ほのぼのランド(年4回発行)」掲載記事作成				0	0	0
かつらぶフェスタ実行委員会	中止	西京児童館	—				0	0	0
洛西ニュータウンアクションプログラム検討会(ワーキンググループ検討会)	8/24、11/16、12/1、3/16	洛西支所	洛西ニュータウンのまちづくり再生を、行政と住民が一緒になって考え進める。今年度でプログラム期間はいったん終了。次年度からも引き続き活動。「らくさいきのひろば」の活用、「竹林公園子どもの広場」を利用したプレイパークの展開を主な役割分担内容となる。				0	0	0

	洛西支所幹事会	6/12、7/17、8/25、9/18、1/29	洛西支所	はぐくみ室・社協・民生・久世保育所(地域支援)・ま～ぶりんぐが集まって定期的開催。			0	0	0
	たけっこぐんぐんプロジェクト委員会	6/30、9/25、3/22	洛西支所	洛西地域の民生児童委員・はぐくみ室・ま～ぶりんぐ・久世保育所で構成。あかちゃん訪問事業、らくさい親子はぐくみスタンプラリー、「らくさいっこあつまれ～」が主な活動			0	0	0
	洛西基幹ステーション会議	6/29、2/15	洛西支所	支所幹事会と基幹ステーション合同の会議 コロナ禍での取り組みの工夫や困りについて共有			0	0	0
	新林地域子育て支援ステーション事業「新林ネットワーク会議」	3/17	新林児童館	9月アンケート(コロナ禍で各施設の工夫や困りの情報共有) 3月アンケートを踏まえて新林小学校にて会議			0	0	0
	洛西地域子育て支援ステーション会議	7/10、8/19、2/26	洛西支所	「らくさいっこあつまれ～」開催に向けて打ち合わせ・準備・見返りのための会。			0	0	0
	「深草の魅力『知って』・『感じる』体感プロジェクト」実行委員会	9/7、3/15、1/21	深草支所	深草支所が提案する、子育て世代のふかくさへの移住・定住に向けた取り組みに関わり、内容の検討、意見交換を実施。今年度は、特に深草情報冊子の作成に関わった。そのほか来年度から始まる交流会、ツアーに向けての検討を進めた。					
	ふかくしゃべり場	7/22、9/23、10/21、11/18、12/23、1/20、2/17、3/3	ふかふか家	4～6月は中止となったが、7月から再開。Zoomを併用しながら開催し、主に各団体の活動の情報共有を行った。今後は、場の認知を広めてより活性化させていき、共同でイベントを行うなどしゃべりばとしての活動を何かの形にすることが課題。			0	0	0
6 （ 事務局	事務局(会計・名簿管理・渉外窓口・書類作成など)	0	0				10,973,000	0	952,620
	事務局経費(通信費・送料・保険など)	0	0				215,370	0	174,770
	会議費	0	0				310,055	0	174,770